

## 広報クリニック ＜レイアウト編＞

“余白は余裕の白  
として配置する”

枠のなかに単語や文章を入れる場合があります。文字を枠のギリギリに配置すると、枠の近くの文字が窮屈で非常に読みにくくなります。「ギリギリだけど収まったからいい」ということにはなりません。枠のなかには、余裕をもって文章を配置しましょう。

文章を枠内に入れる場合は、上下に0.5文字分程度の余白を確保するとよいでしょう。そのためには文字と枠はそれぞれ独立して作成することをおすすめします。(参考サイト：伝わるデザイン)

× 余白がない

志免町まちづくり支援室

◎ 余白がある

志免町まちづくり支援室



変化への対応は、  
まず自分が変わるところから

今回の記事から見えるのは「変化にどう向き合うか」ということです。

記事では、社会のニーズや課題の変化に対応していくために、新たに資源や資金を自ら確保していましたが、このように、まずは変化を受け止め、対応できるように自ら変わっていく努力が重要です。

そのためには、変化の方向性や度合いを見極める

ために、ニーズや課題をとらえることが必要です。それが分かってくると、対応するためのスキルやノウハウが見えてきます。記事にある町職員向け研修のように、スキル修得のための学習に取り組まなければ、対応力は上がっていきません。

ただそれ以上に大切なのは、変化に向き合う意欲や姿勢です。変化のスピードが速く、対応が難しいこともたくさんありますが、少しでも自らを変えよう、高めようとする意欲や姿勢が、変化への対応における一番の鍵となります。

### ▼支援室からのお知らせ

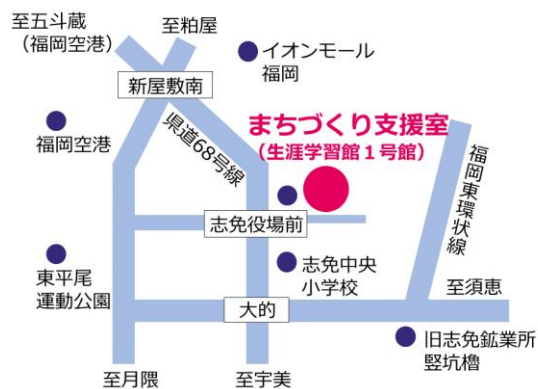
出前講座をご活用ください！出前講座メニューの「協働のまちづくり」、「ボランティアについて」は、支援室職員が講師として伺います。ボランティア団体内の説明会や、町内会の研修などにぜひご活用ください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

★次号＜Vol.24＞は2019年12月発行予定です。

まちづくり支援室は、住民活動を支援し、志免町と町民の皆さんで協働したまちづくりをすすめるために設置された施設です。専門のコーディネーターを配置し、NPOやボランティアに関する情報を発信するとともに住民活動に関する相談やアドバイスをしています。



▲公式ホームページ



- 発行 志免町まちづくり支援室
- 発行日 令和元年(2019年)9月30日
- 編集 NPO法人ミディエイド
- 住所 〒811-2244 福岡県糟屋郡志免町志免中央1-3-2(生涯学習1号館内)
- TEL 092-936-8626
- FAX 092-936-8626
- E-mail collabo@town.shime.fukuoka.jp
- 開室時間 9:00~17:00(火曜・木曜・土曜)  
9:00~21:00(水曜・金曜)

# The 志免町 まちづくり 支援室 2019.9.30

Vol.23

### ＜本号の内容＞

- 1ページ【支援室レポート】町職員向け研修
- 2ページ【取り組み紹介】活動を見直す
- 3ページ【団体活動情報】シャイニングハートしめ/エコネットしめ
- 4ページ【広報クリニック】レイアウト編



## 【支援室レポート】町職員向けの研修を実施しました

～効率的な会議の仕方～

まちづくり支援室では、協働や住民参画に関する知識や考え方を身につける目的で、町職員を対象に研修を実施しています。7月25日の研修「効率的な会議の仕方」では、NPO法人ドネルモの宮田智史さんを講師にお招きし、18名の町職員が参加しました。

気づくりや、発言する人が偏らない配慮、逸れた会話を本筋に戻す作業などを行い、対話を促すのがファシリテーションです。グループワークでは実際にファシリテーションを体験しました。

### ▼協働や住民参画における会議の重要性

協働も住民参画も、異なる立場の人が会議を重ね、意見を交わし、共通認識を図ることが重要です。そこで、会議の質を高めることで他組織同士のコミュニケーションが円滑になり、協働や住民参画の推進につながることを期待し、今回のテーマを設定しました。

参加者の感想には、「難しかったが、ファシリテーターの重要性を実感した」「学びを今後の会議に活かしたい」などがありました。審議会やワークショップなど、住民と対話する場面でぜひ実践していただきたいと思います。

### ▼「効率的=時間が短い」ではない

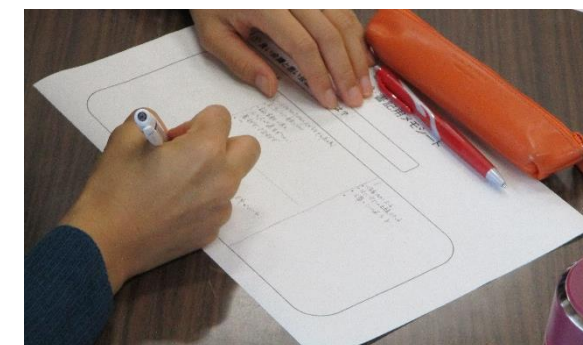
宮田さんによると、会議とは「目的が明確で、多くの意見が交わされ、共通理解を図りながら、結論が出される場」だそうです。近年、業務の効率化が叫ばれ、短時間の会議が重視されていますが、時間短縮だけを目的とせず、しっかり対話がなされる会議も大切です。

### ▼「対話の場」をつくるファシリテーション

会議の質を高める重要なポイントに「対話しやすい環境」があります。参加者が安心できる雰囲気



▲会場の広さや机の配置も話しやすい場づくりに重要です。



▲ホワイトボードやメモでの可視化は認識共有に有効です。